



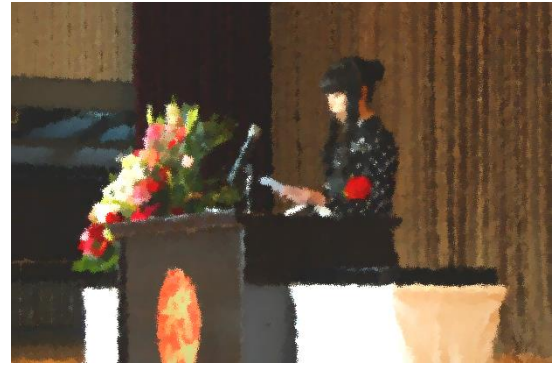
# チーム青島！

青島日本人学校だより  
平成29年3月11日  
校長 登喜 龍一郎

## 〈最終号〉 3年間、温かいご支援とご協力、 ありがとうございました。

月日の過ぎるのは早いもので、平成28年度も本日が最後となりました。先日の卒業式は、厳かな雰囲気の中にも、子供たちのしっかりとした呼びかけや元気な歌声、涙があふれ胸を打つ場面もあり、素晴らしい式となりました。式を通して、卒業生は勿論のことですが、在校生たちが式にふさわしい行動と態度をとっている姿に、感動をおぼえました。それぞれの学年の子供たちが、お世話になった卒業生をしっかりと送り出す気持ちを形にできた姿でした。その姿から、一人一人が新しい学年に向けての心の準備がしっかりとできていることを実感しました。

さて、3月の学校だよりでもお知らせいたしましたように、私は、この3月をもって、本帰国となります。この3年間、子供たちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく、元気に明るく楽しく学校に通うことができたことが何よりでした。この間、それぞれの学年の児童生徒が学習に全力投球して、一人一人確かな学力をつけてきました。また、運動会、学習発表会などの大きな行事や、小学部、中学部で引き継がれている伝統太鼓に見られるように、少ない人数の中でしたが、1つの家族のようにお互いを助け合い、支えあいながら、さまざまな活動を立派に「チーム青島」としてやり遂げることもできま



〈答辞を述べる、ただ一人の中学3年生〉

ました。

これらの活動が実践できたのも、ひとえに学校運営理事会の皆様、PTA役員の皆様、日本人会の皆様、そして、毎日子供たちを元気に学校に送り出していただいた保護者の皆様の温かいご支援とご協力があったからこそと、校長として深く感謝申し上げます。3年間、誠にありがとうございました。

4月に着任する新校長の下、「子供たちのために」を合言葉に、青島日本人学校がますます発展することを祈念いたしております。



〈門出の言葉を堂々と述べる、小学部6年生7人〉

## 日本人会の皆様、これからも教育活動へのご支援、よろしくお願い申し上げます。

2月下旬、大多福食品（青島）有限公司の方々が、5年生の児童と保護者を対象に、家庭科室で「お好み焼き教室」を開催してくださいました。毎年恒例となっているこの教室は、5年の児童にとっては大きな楽しみの1つとなっています。

本年度、小学部3、4年生の社会科でのイオン見学やミニストップ弁当工場・愛達高服装工場などの見学、中学部のイオン・ANA等々での職場体験学習など、多くの日本人会の企業や個人経営の方々のご協力やご厚意によって、本校児童生徒に、さまざまな社会体験の機会をいただきました。誠にありがとうございました。



〈小5親子「お好み焼き」教室〉

日本人会の皆様、今後とも、是非本校の教育活動に温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。